

- ・みなさま、こんにちは。
 - ・私は本学共通教育の責任者をしています奥田と申します。
 - ・本日の司会・進行を担当します。
 - ・よろしく申し上げます。
-
- ・さて、「大学学」・・・とてもユニークというか変わった授業名ですね。
 - ・「大学学」は全国の大学の中でも高知大学独特の授業です。
 - ・何のためにそんな授業があるのでしょうか。
 - ・それは、大学生として、できるだけ早く学びのスタイルを身につけてほしいというねらいがあるからです。
 - ・大学では、皆さん自身が学び、学んだ多くの知識を自分で関連付け、自分自身の生きた知識と能力にしていきます。
 - ・生きた知識と能力は、決して与えられるのではなく、皆さん自身が獲得し、社会で活用・応用するものです。
 - ・入学してから 1 学期の半分が経過し、「大学学」もいよいよ大詰めとなりました。
 - ・今日は、その締めくくりとして本学学長山本晋平先生により「学長講義」をセットいたしました。
 - ・今、別々の場所にある 5 つの教室で、皆さん 1 回生約 1000 人の学生が同時にこの「学長講義」を受講します。
-
- ・最初に、今回の講義システムについて、学術情報処理センターの佐々木先生より、説明をしていただきます。
 - ・それに引き続いてメインイベント「学長講義」、約 1 時間あまりを予定しております。
 - ・最後に質疑応答の時間をとります。
-
- ・それでは、佐々木先生、申し上げます。
-
- ・ありがとうございました。
-
- ・それでは「学長講義」を始めたいと思います。
 - ・山本晋平先生は、学長に就任される前は本学の農学部で長きに渡り教鞭をとられてきました。

- ・学長になられてからは、若い学生に対して直接講義をされる機会が少なくなっただので、この「学長講義」を大変楽しみにされています。
 - ・また、学長は本学高知大学の卒業生でもあります。
 - ・それゆえ、高知大学の学生へ期待される場所もひとしおであると推察いたします。

 - ・本日は、高知大学 21 世紀プロジェクト「海洋高知の可能性を探る」というタイトルで講義をしていただきます。
 - ・学長に直接質問できる機会はそうそうありません。
 - ・講義を聴きながら質問事項をメモし、是非、質疑応答に参加するようにしてください。
 - ・それでは山本学長、お願いいたします。

 - ・有難うございました。

 - ・それでは質疑応答に移ります。
- レジメ

閉会

- ・本日は大学学の締めくくりとして山本晋平学長から「海洋高知の可能性を探る」というテーマで特別講演をいただきました。
- ・大学学を通じて、皆さんそれぞれが高知大学での学びへスムーズに移行できることを期待します。
- ・本日の「学長講義」の設定にあたり、学術情報処理センターのみなさま、それから教務関係の教職員の方々、ティーチングアシスタントの学生諸君には多大なご協力をいただきました。ここにお礼申し上げます。
- ・最後になりましたが、この講義のために多忙のなか綿密に授業のご準備をされ、ご講演していただきました山本学長に深く感謝申し上げます。有難うございました。
- ・これをもって講演会を終了いたします。